

平成 21 年 10 月 30 日

各 位

会社名 全日本空輸株式会社
代表者名 代表取締役社長 伊東 信一郎
(コード番号 9202 東証・大証各第1部)
問合せ先 総務部長 小辻 智之
(TEL . 03-6735-1001)

通期業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 21 年 10 月 30 日開催の取締役会において、以下のとおり最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 4 月 30 日に公表した平成 22 年 3 月期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 業績予想の修正について

(1) 平成 22 年 3 月期通期連結業績予想（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

(単位：億円、%)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
前回発表予想 (A)	億円 13,500	億円 350	億円 50	億円 30	円 銭 1.55
今回修正予想 (B)	12,600	△200	△450	△280	△12.04
増減額 (B-A)	△900	△550	△500	△310	
増減率 (%)	△6.7	—	—	—	
(参考) 前期連結実績 (平成 21 年 3 月期)	13,925	75	0	△42	△2.19

(2) 平成 22 年 3 月期通期個別業績予想（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

(単位：億円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	億円 12,100	億円 300	億円 15	億円 10	円 銭 0.52
今回修正予想 (B)	11,100	△230	△460	△290	△12.47
増減額 (B-A)	△1,000	△530	△475	△300	
増減率 (%)	△8.3	—	—	—	
(参考) 前期連結実績 (平成 21 年 3 月期)	12,486	△7	△35	△18	△0.94

(3) 修正の理由

今年度の経済見通しにつきましては、昨年度下半期からの世界的な不況が継続するとの見通しから、当社を取り巻く経営環境はこれまでに経験したことがない大変厳しい環境になると認識し、期初には730億円規模のコスト削減策を策定するとともに、各種需要喚起策を講じてまいりました。

しかしながら上半期業績につきましては、昨年来継続する需要低迷による個人や企業の低価格志向の強まりに伴う単価下落は想定以上に激しく、また新型インフルエンザによる需要減退により、上半期収入は当初見込みから大きく減少し、前年同期と比べて約1,415億円減少する結果となりました。下半期の見通しにつきましては、景況感に回復の兆しは見られるものの、先行きへの不透明感は払拭されず、直近の予約動向等に鑑みると、需要及び単価については当初予想していた以上に回復に時間を要し、上半期同様の厳しい収入環境が継続するものとの前提を置かざるを得ない状況となっております。

かかる状況の下、期初からの前期比730億円規模のコスト削減策に加え、第1四半期終了時点において通期で当初計画比約300億円の収支悪化リスクが顕在化したため、300億円規模の収支改善策を掲げ、当初計画どおりの利益確保を目指すべく取り組んでまいりました。それぞれの対策についてほぼ予定通り遂行してきた効果もあり、当上半期の営業費用は前年同期と比べて約630億円減少しました。なお、それぞれの対策について、通期での目標達成を見込んでおります。

しかしながら、上半期実績及び下半期の見通しを踏まえると、当初計画比約900億円の大幅な減収見通しとなり、上記の300億円規模の収支改善策を含め、通期で当初計画比350億円規模の営業費用削減を図る所存ではありますが、約550億円の営業利益の悪化は避けられず、平成22年3月期の通期連結予想を修正します。

なお、業績予想の前提として、第3四半期以降の米ドル円為替レートを95円、航空燃油費の一指標であるドバイ原油の市場価格を1バレルあたり65米ドル、シンガポール・ケロシンを1バレルあたり75米ドルとしています。

(参考)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益
前第2四半期累計期間実績	億円 7,533	億円 498	億円 395	億円 220
当第2四半期累計期間実績	6,118	△282	△415	△253
増減額 (B - A)	△1,415	△781	△810	△474
増減率 (%)	△18.8	—	—	—

2. 配当予想の修正について

(1) 修正の内容

基準日	1株当たり配当金 (円)				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
前回予想	—	—	—	未定	未定
今回修正予想	—	—	—	0.00円	0.00円
当期実績	—	—	—		
前期実績 (平成21年3月期)	—	—	—	1.00円	1.00円

(注)当社では中間配当制度を採用しておりません。

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様に対する還元を経営の重要課題として認識しており、将来の事業展開に備えた財務体質強化という課題とのバランスを考えつつ、充実してまいりたいと考えております。

当期の配当予想につきましては、前回公表時点（平成 21 年 4 月 30 日）では、経営環境の先行きが不透明であったので、上記方針を踏まえつつ未定とさせていただいておりましたが、当初予想した以上の収入の落ち込みにより、各種コスト削減策を講じたものの当期利益の確保が難しくなったことから、無配とさせていただきたく存じます。

株主の皆様には深くお詫び申し上げるとともに、業績回復並びに復配に向け経営努力を重ねてまいりますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

※ 業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、最終の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上